

住宅480戸を浸水被害から防護

— 地震により被災した小野川堤防の復旧工事 —

- 東日本大震災では地震動や液状化により、県内各地の河川堤防において、多数の被害が発生。
- 稲敷市の小野川では、**約1.8 kmに及ぶ大規模な堤防の沈下や、縦断方向の亀裂、法面の崩壊等**が発生。
- 震災直後の応急工事として、亀裂箇所の補修や、沈下した箇所にて盛土工事を実施し、台風や大雨による浸水被害を防止。
- 台風シーズン後に、盛土や法面の本復旧工事に着手し、11月までに完成。
- 堤防が決壊した場合、浸水が想定される区域の**住宅建物480戸、田畑930ha**を浸水被害から防護。

